

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-196	高等学校	国語科	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修の基本方針

1. 近現代のすぐれた論理的な文章に触れることにより、言語感覚を磨き、知識と教養を身に付け、豊かな感性や情緒を育むことができるようにした。
2. 生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより、思考力・判断力・表現力を養い、自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。
3. 対話的・協働的な学習活動を積み重ねることにより、さまざまな社会的要請に応え得る人間性の育成に役立てられるようにした。
4. 現代社会における問題を具体的に扱った教材を意識的に採録して、人間・環境・社会などさまざまな課題に向き合う態度を養うことができるように配慮した。
5. 我が国の言語文化の伝統を深く理解したうえで、言葉によつて的確に理解し、適切に交流する能力をはぐくみ、真に国際的な人間形成を促すことを期した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第 I 部	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のはたらきに理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにして、社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けることを目指した(第1号)。 ・真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによつて、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した(第1号)。 ・情報の収集や、情報の妥当性や信頼性の吟味といった、現代の情報化社会において重要とされる能力を高めることを目指した(第1号)。 ・意図を正しく表現する文章技術や教養を身に付け、自分の考えや事柄を国語で適切に伝える能力を伸ばせるようにした(第1号)。 	<p>p. 34～43</p> <p>p. 104～112 p. 113～122</p> <p>p. 31～32 p. 44～47 p. 137～139</p> <p>p. 124～p. 130</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・個性を肯定するとともに、多様な価値観について述べた題材を採録し、異なる立場からの意見を尊重する態度を身に付けられるように配慮した(第2号)。 ・生徒同士の会話を含む教材を用意し、生徒自らが主体性を発揮して学習に取り組むことを期した(第2号)。 	<p>p. 22～30</p> <p>p. 140～144</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・近代社会の秩序や理念について述べた題材に加えて、科学技術の発展、消費行動のあり方など、現代の諸問題を取り上げた題材を採録し、生徒が社会の形成と発展について考察を深められるよう配慮した(第3号)。 ・地域社会や学校生活など、生徒にとっての実社会と深く関わる題材を積極的に採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるようにした(第3号)。 	<p>p. 58～61 p. 62～64 p. 86～93 p. 94～102 p. 132～136</p> <p>p. 124～p. 130 p. 140～144</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・生命、自然、環境といった、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、生命を尊ぶ態度を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第4号）。 	p. 22～30
	<ul style="list-style-type: none"> ・言語論・比較文化論などを積極的に採録して、我が国の言語文化に対する関心を喚起するとともに、他国の文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。 	p. 16～21 p. 34～43 p. 48～56 p. 66～75 p. 76～83
第Ⅱ部	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のはたらきに理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにして、社会生活に必要な言葉の知識や技能を身に付けることを目指した（第1号）。 ・真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。 ・実社会や学術的な学習の基礎となる知識や教養を身に付け、自分の考えや事柄を国語で適切に伝える能力を伸ばせるようにした（第1号）。 ・情報を整理したり、整理した情報を適切に活用したりといった、現代の情報化社会において重要とされる能力を高めることを目指した（第1号）。 	p. 262～267 p. 268～274 p. 156～168 p. 170～179 p. 180～188 p. 190～193 p. 194～198 p. 228～238 p. 276～284 p. 286～298 p. 276～281 p. 286～291 p. 292～293
	<ul style="list-style-type: none"> ・個性を肯定するとともに、多様な価値観について述べた題材を採録し、異なる立場からの意見を尊重する態度を身に付けられるように配慮した（第2号）。 ・社会生活を送ることについて考察した題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深められるようにした（第2号）。 ・具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。 	p. 146～155 p. 220～227 p. 276～284 p. 286～298
	<ul style="list-style-type: none"> ・近代社会の秩序や理念について述べた題材に加えて、情報化の進展、科学技術の発展など、現代の諸問題を取り上げた題材を採録し、生徒が社会の形成と発展について考察を深められるよう配慮した（第3号）。 ・現代社会における協働や相互扶助、人々の政治行動やルールについて考察した題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深められるようにした（第3号）。 	p. 240～249 p. 250～260 p. 276～284 p. 286～298 p. 240～249 p. 276～284 p. 286～298
	<ul style="list-style-type: none"> ・生命、自然、環境、といった、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、生命を尊ぶ態度を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第4号）。 	p. 200～218
	<ul style="list-style-type: none"> ・言語論・比較文化論を採録することにより、我が国の言語文化に対する関心を喚起するとともに、他国の文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。 	p. 146～155

資料編・口絵	<ul style="list-style-type: none"> ・表現に関する実用的な資料を採録し、実生活や学術的な学習の基礎となる知識や教養を身に付けることができるようにした（第1号）。 ・「慣用表現一覧」および採録した題材の参考写真等を用意し、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、我が国や他国の言語文化に対する興味・関心を喚起できるよう配慮した（第1号・第5号）。 ・「読みを広げる」を設定して、読書の幅を広げることができるようにした（第1号）。 	<p>巻頭口絵 p. 300～307</p> <p>巻頭口絵 p. 308～312</p> <p>巻末口絵</p>
--------	--	---

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・第二条第3号及び、学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を踏まえ、第I部、第II部の各教材の最後に「学習の手引き」「言語活動の手引き」「言葉の手引き」として課題を用意し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を設定した。教材の内容や構成などについて理解を深め、自らの考えを的確に表現する資質・能力を養うとともに、生徒相互の意見交流を通じて、多角的で客観性のある批判的思考能力を養えるよう配慮した。
- ・書体にユニバーサルデザインフォントを取り入れたほか、カラーユニバーサルデザインにも配慮し、すべての生徒にとって学びやすい紙面となるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
107-196	高等学校	国語科	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

①単元構成・教材選定

- ・「現代の国語」および「言語文化」で育成された資質・能力をさらに推し進め、実社会や学術的な学習に必要な国語の知識や技能を効果的に身につけるため、論理的・批判的な思考力・判断力を育成するための学びと、表現力を育成するための学びとが、それぞれ系統的に行えるように教材を配置した。
- ・評論はテーマを基本とした単元構成にして、教材同士が有機的な繋がりをもって学習できることを意図した。
- ・「情報を使いこなす」では、実用的な文章の「A 書くこと」「B 読むこと」に関わる教材を取り上げた。
- ・「小論文を書く―基本・実践」「レポートを書く」は、「A 書くこと」に関わる教材を取り上げ、「論理国語」の目標に掲げられている、「他者との関わりの中で伝え合う力を高め」るための学びを実現することを意図した。
- ・「B 読むこと」の教材選定にあたっては、生徒の発達段階や「現代の国語」「言語文化」との接続にも配慮しつつ、高校生が身につけておくべき幅広い知識を提供し得る作品をさまざまな分野から厳選し、人間や社会に対する視野や考えがさらに広がり深まるように教材を配列した。
- ・評論単元の扉および「小論文を書く―基本・実践」「レポートを書く」の教材の冒頭に、それぞれの教材で何を学ぶかを「学習のねらい」として示し、教材の意図を学習者全体で共有しながら学びに取り組むことができるようにした。
→「生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る」ための配慮。

②[知識及び技能]への対応

- ・作品の中で押さえておくべき熟語、慣用句、四字熟語等を「注意すべき語句」として脚注の左に示し、必要な語句を効果的に学習できるよう配慮した。
- ・「言葉の手引き」を設定して、「B 読むこと」の内容と関連づけながら漢字・語句・表現・修辞等の知識を深めるとともに、文脈の中で語感を磨き、語彙を豊かにできるようにした。
- ・情報と情報との関係については、「B 読むこと」の内容と関連づけながら「学習の手引き」で理解を深めるとともに、「読解のレッスン①③」において、主張と根拠、具体と抽象といった情報と情報との関係や、論理展開の基本となる推論について基礎的な知識を得られるようにした。
- ・巻頭口絵および巻末「資料編」に豊富な資料や写真・図版を掲載し、知識をより深めるための一助とした。
- ・作品ごとに作者解説を付し、出典の情報を示して読書につながる興味づけを図るとともに、評論については巻末口絵に「読みを広げる」を設けて各教材の作者の著書を紹介し、読書の幅を広げることができるよう意図した。

③[思考力、判断力、表現力等]への対応

- ・「A 書くこと」に関しては、「言語活動」を主体として教材を設定し、具体的な活動を通して表現力や想像力を高め、自分の考えを広げて伝え合う能力を育成することを旨とした。教材として取り上げる項目は、「言語活動例」に示された内容に即して選定した。
- ・「B 読むこと」に関しては、脚注の「問」、および「学習の手引き」「活動の手引き」の三つの課題設定によって、作品の内容理解を深め、興味を広げることができるようにした。
 - * 「問」は、本文を解釈するうえでポイントとなる箇所、内容理解を確認する目的で示した。
 - * 「学習の手引き」は、文章全体の構成の把握、構成を支えている論理（各段落のはたらき、段落相互の関係、論展開など）の把握、「学習のねらい」に沿った内容の解釈および評価という、基本的に三つの事柄を行うことを主旨として設定した。
 - * 「言語活動の手引き」は、本文を学習して得た知識や、本文に関連する事柄などをもとにして、文章を書いて発表したり、調査・報告を行ったりするなど、「読むこと」と「書くこと」の両方に関わる「言語活動」を行うことを主旨として設定した。
- ・「言語活動の手引き」とは別に、「B 読むこと」の「言語活動」として、関連するテーマについて書かれた異なる題材の二つの文章教材を用意し、それぞれの書き手の意図を捉えながら必要な情報を関係づけ、多面的・多角的な視点から自分の考えを深めることができるようにした。
 - p. 66 「情けは人の……」、p. 76 「犬も歩けば棒に当たる」
 - p. 190 「『わからない世界』の中の科学」、p. 194 「『妖怪は存在する』という知」
 - p. 200 「クマを変えてしまう人間」、p. 209 「にごりの海の透明度」
- ・実用的な文章は、実用と活用に重点を置いて、「言語活動」を主体とした課題設定を行った。

2. 対照表

章	図書構成・内容		学習指導要領の内容							該当箇所	配当時間		
			知識及び技能			思考力・表現力・判断力等					書くこと	読むこと	計
	(1)	(2)	(3)	書くこと(1)	書くこと(2)	読むこと(1)	読むこと(2)						
理解編Ⅰ	1 多様性を考える	「日本文化」とは？ という問い	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア	ア・ウ・カ	ア	p.16-p.21	1	3	4
		進化が導き出した答え	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・ウ	ア・ウ・エ・カ	ア・ウ	p.22-p.30	1	3	4
		[コラム]文章を要約するには	エ	ア・イ						p.31-p.32			
	2 文化を比べる	数え方で磨く日本語	ア・イ・エ	ア・イ		ア・ウ・エ・オ	イ・ウ・エ	ア・ウ・エ・カ	ア・ウ・オ	p.34-p.43	1	4	5
		[コラム]資料を集めて分析するには		イ						p.44-p.47			
		名所絵はがきの東西	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・ウ	ア・ウ・カ	ア・ウ	p.48-p.56	1	4	5
	3 論理を見いだす —読解のレッスン①	プレゼントの謎	エ	ア・イ				ア・カ		p.58-p.61		2	2
		「みんな違ってみんないい」のか	エ	ア・イ				ア・カ		p.62-p.64		2	2
	4 表現に出会い直す	情けは人の……	ア・イ・エ	ア・イ		ア・イ・オ	ア・イ・エ	ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ	ア・エ・オ	p.66-p.75	1	3	4
		犬も歩けば棒に当たる	ア・イ・エ	ア・イ		ア・イ・オ	ア・イ・エ	ア・イ・ウ・エ・オ・カ・キ	ア・エ・オ	p.76-p.83	1	3	4
	5 モノの価値を問う	欲望を創造する技術	イ・エ	ア・イ		ア・ウ・エ	ア・ウ	ア・ウ・カ	ア・ウ	p.86-p.93	1	3	4
		食べ物に値段がなかったら	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア	ア・ウ・エ・カ	ア	p.94-p.102	1	4	5
	6 自己を見つめる	鏡としての他者	イ・エ	ア・イ		エ・カ	ア	ア・ウ・エ・カ	ア・イ	p.104-p.112	1	4	5
		経験の教えについて	イ・エ	ア・イ		ア・イ・オ	ア・エ	ア・ウ・エ・オ・カ・キ	ア・オ	p.113-p.122	1	4	5
	7 小論文を書く —基本	小論文の特徴を知る	ウ・エ			イ・ウ	イ			p.124-p.125	2		2
問いに応える			ア		イ	ア			p.126-p.127	2		2	
文章の完成度を高める		ウ・エ			ウ・エ・オ・カ	イ・エ			p.128-p.130	4		4	
8 実用文 —情報を使いこなす	コンテンツ産業に関する表と文章を読み比べる		ア・イ		ウ・オ	ア	イ・オ	ア・エ	p.132-p.136	2	2	4	
	[コラム]グラフ・図表を読み取り、活用するには		イ						p.137-p.139				
	ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する	エ	ア		ウ・オ・カ	ア	イ・エ・オ	ア・エ	p.140-p.144	2	2	4	
1 思いを伝え合う	コミュニケーションの文化	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・ウ	ア・ウ・エ・カ	ア・ウ	p.146-p.155	1	3	4	
	哲学的思考とは何か	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ・カ	ア	ア・ウ・エ・カ	ア	p.156-p.168	1	4	5	
2 世界を捉え直す	新しい博物学を	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・イ	ア・エ・カ	ア	p.170-p.179	1	4	5	
	ヒトはなぜヒトになったか	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・イ・ウ	ア・ウ・カ	ア・ウ	p.180-p.188	1	4	5	
3 文章を読み比べる —読解のレッスン②	「わからない世界」の中の科学	エ	ア・イ				イ・オ・カ・キ	ア・エ	p.190-p.193		2	2	
	「妖怪は存在する」という知	エ	ア・イ				イ・オ・カ・キ	ア・エ	p.194-p.196		3	3	
4 自然のなかで生きる	クマを変えてしまう人間	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・ウ	ア・ウ・エ・オ・カ・キ	ア・ウ・エ	p.200-p.208	1	3	4	
	にごりの海の透明度	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・ウ	ア・ウ・エ・オ・カ・キ	ア・ウ・エ	p.209-p.217	1	4	5	
5 あたりまえを疑う	共同性の幻想	イ	ア・イ				ウ・エ・カ	ア・ウ	p.220-p.227		4	4	
	僕らの時代のメディア・リテラシー	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・ウ	ア・ウ・カ	ア	p.228-p.238	1	4	5	
6 現代社会と向き合う	支え合うことの意味	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・ウ	ア・ウ・エ・カ	ア・ウ	p.240-p.249	1	4	5	
	科学技術は暴走しているのか	イ・エ	ア・イ		ウ・エ・オ	ア・ウ	ア・ウ・カ	ア	p.250-p.260	1	4	5	
7 推論を習得する —読解のレッスン③	推論とは何か		ウ				ア・ウ・オ・カ	ア	p.262-p.267		1	1	
	帰納法のワナ—一般化に対する疑問		ウ				ア・ウ・オ・カ	ア	p.268-p.273		2	2	
8 レポートを書く	テーマを決めてレポートを書く	ウ・エ	ア・イ		ア・イ・ウ・エ・オ	ア・イ・エ			p.276-p.279	5		5	
	書いたレポートを評価・分析して修正する	ウ・エ			イ・カ	イ・ウ			p.282-p.284	3		3	
9 小論文を書く —実践	資料を読んで情報を整理する	ウ・エ	ア・イ		ア・イ・ウ・エ	ア・イ	ア	ア	p.286-p.291	3	1	4	
	整理した情報をもとに、小論文を書く	ウ・エ			ウ・エ・オ	ア・イ			p.292-p.293	5		5	
	書いた小論文を評価・分析して修正する	ウ・エ			イ・ウ・エ・オ・カ	イ・ウ			p.294-p.298	3		3	
	読みを広げる			ア					巻末口絵				
										50	90	140	

常用漢字以外の使用漢字一覧表

畏 捏 苔 悞 忸 屁 懿 靖 綏 函 旭 阿 狐 粟 濡 智 之 笠 駿 鞞 筑 牢 揃 翻 醜 苑 凱 嬌 爾 炒 鮭 棲 掙 暢	漢字
92 88 84 79 79 77 76 76 76 76 76 76 72 71 71 66 62 54 54 54 54 53 52 52 52 51 51 49 48 46 36 26 22 20	ハﾟｰｼﾞ
嘘 鋒 彦 搔 腿 牽 昂 蕪 蕉 芭 痺 蘊 苦 馴 歪 柴 謗 誹 箴 顛 汝 淵 些 諷 獅 譚 誼 賈 寓 榎 乖 噌 萌 辰	漢字
196 194 194 192 180 176 176 175 175 175 174 174 156 147 138 134 125 125 120 118 118 117 117 116 114 114 113 113 113 104 100 99 98 94	ハﾟｰｼﾞ
鼬 訣 鼠 敲 婉 蝕 惚 疇 繹 鋤 鋤 茫 瀆 尖 揉 泄 驚 撒 杞 杭 菅 穢 瀕 幌 轢 軋 鉞 糞 摺 蠟 鱒 栗 也 蜃	漢字
309 309 309 298 286 271 268 267 263 252 252 251 251 243 240 240 240 236 233 221 220 215 214 205 205 205 203 201 201 200 200 200 200 197	ハﾟｰｼﾞ
遼 弘 啄 蛙 檄 釘 兜 壺 槌 嶺 藪 藁 筍 胡 蒲 菖 靛 霹 瓜 蛛 蜘 蚤 鯖 鯉 鰻 鳩 雀 烏 鷓 鸚 吞 鶉 狸 兔	漢字
口絵 口絵 口絵 口絵 312 312 312 312 312 311 311 311 311 311 311 311 311 311 310 309 309 309 309 309 309 309 309 309 309 309 309 309 309 309 309	ハﾟｰｼﾞ
	峙 漢字
	口絵 ハﾟｰｼﾞ

音訓一覧表

漢字	音訓	ページ	漢字	音訓	ページ
菅野仁	かんのひとし	220			
神戸	こうべ	209			
獲る	とる	208			
不知火	しらぬい	198			
井上円了	いのうええんりょう	194			
小松和彦	こまつかずひこ	194			
内山節	うちやまたかし	194			
素	もと	192			
渡部信一	わたべしんいち	190			
中屋敷均	なかやしきひとし	190			
司る	つかさどる	185			
長谷川眞理子	はせがわまりこ	180			
四方山話	よもやまばなし	177			
七夕	たなばた	176			
斉藤国治	さいとうくにじ	176			
枕草子	まくらのそうし	175			
詠われ	うたわれ	175			
河豚	ふぐ	175			
与謝蕪村	よさぶそん	174			
池内了	いけうちさとる	170			
柴田晴香	しばたはるか	134			
理性的動物	ホモ・サピエンス	119			
榎本博明	えのもとひろあき	104			
垣間見	かいまみ	101			
佐伯啓思	さえきけいし	88			
禍	わざわい	80			
函館	はこだて	76			
阿刀田高	あとうだたかし	76			
相模原	さがみはら	73			
俵万智	たわらまち	66			
山口裕之	やまぐちひろゆき	62			
眼	め	56	間	あわい	
飛鳥山	あすかやま	53	穂村弘	ほむらひろし	
広重	ひろしげ	53	与謝野晶子	よさのあきこ	
鹿苑寺	ろくおんじ	51	活かさ	いかさ	
高階秀爾	たかしなしゅうじ	48	住吉雅美	すみよしまさみ	
飯田朝子	いいだあさこ	34	抛り所	よりどころ	
棲み処	すみか	28	士郎正宗	しろうまさむね	
称え	たたえ	22	怪我	けが	
稲垣栄洋	いながきひでひろ	22	技術的特異点	シンギュラリティ	
家	ちべ	20	佐倉統	さくらおさむ	
寿司	すし	16	木阿弥	もくあみ	
堪能	たんのう	16	看取り	みとり	
朴	ぼく	16	鷺田清一	わしだきよかず	

出 典 一 覧 表

〔国語教材〕

申請図書			出 典				備考	
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
16～20	「日本文化」とは？ という問い	国語教材	朝日新聞（2023年10月12日）		朴沙羅	朝日新聞社	2023年	
22～29	進化が導き出した答え	国語教材	敗者の生命史38億年（第1版第1刷）	194～201	稲垣栄洋	PHP研究所	2019年	
34～42	数え方で磨く日本語	国語教材	数え方でみがく日本語（初版第1刷）	9～11、23～32、158～159	飯田朝子	筑摩書房	2005年	
48～54	名所絵はがきの東西	国語教材	日本人にとって美しさとは何か（初版第2刷）	155～159	高階秀爾	筑摩書房	2015年	
58～60	プレゼントの謎	国語教材	世界は贈与でできている——資本主義の「すきま」を埋める倫理学（第9刷）	20～24	近内悠太	ニューズピックス	2024年	
62～63	「みんな違ってみんないい」のか	国語教材	「みんな違ってみんないい」のか？——相対主義と普遍主義の問題（初版第1刷）	3～6	山口裕之	筑摩書房	2022年	
66～74	情けは人の……	国語教材	言葉の虫めがね（第1刷）	34～42	俵万智	角川書店	1999年	
76～82	犬も歩けば棒に当たる	国語教材	犬も歩けば（初版）	197～202	阿刀田高	幻冬舎	2000年	
86～92	欲望を創造する技術	国語教材	まなざしの革命——世界の見方は変えられる（初版）	151～155、157～158	ハナムラチカ ヒロ	河出書房新社	2022年	
94～101	食べ物に値段がなかったら	国語教材	縁食論——孤食と共食のあいだ（初版第6刷）	61～65、69～74	藤原辰史	ミシマ社	2023年	
104～111	鏡としての他者	国語教材	〈自分らしさ〉って何だろう？——自分と向き合う心理学（初版第1刷）	45～53	榎本博明	筑摩書房	2015年	
113～121	経験の教えについて	国語教材	森本哲郎 世界への旅 第九巻（第1刷）	298、300～304	森本哲郎	新潮社	1994年	
134～135	資料B 柴田晴香「コンテンツツーツーリズムの捉え直しと取り組み拡大へ向けた課題」	国語教材	NPIパブリックマネジメントレビュー（2024年1月号）	1～2、4、6～7、10	柴田晴香	野村総合研究所	2024年1月	
146～154	コミュニケーションの文化	国語教材	わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か（第2刷）	136～145	平田オリザ	講談社	2012年	
156～167	哲学的思考とは何か	国語教材	はじめての哲学的思考（初版第1刷）	17～18、23～24 56～71	苫野一徳	筑摩書房	2017年	
170～178	新しい博物学を	国語教材	ヤバんな科学（初版）	147～152	池内了	晶文社	2004年	
180～187	ヒトはなぜヒトになったか	国語教材	科学は未来をひらく 〈中学生からの大学講義〉 3（初版第1刷）	164～172	長谷川眞理子 他	筑摩書房	2015年	
190～193	「わからない世界」の中の科学	国語教材	わからない世界と向き合うために（初版第1刷）	125～130	中屋敷均	筑摩書房	2024年	
194～196	「妖怪は存在する」という知	国語教材	AIに負けない「教育」（初版第1刷）	136～139	渡部信一	大修館書店	2018年	
200～207	クマを変えてしまう人間	国語教材	けもの道の歩き方 猟師が見つめる日本の自然（初版第1刷）	130～138	千松信也	リトルモア	2015年	
209～216	にごりの海の透明度	国語教材	汚穢のリズム——きたなさ・おぞましさの生活考（第1刷）	233～239	福永真弓他	左右社	2024年	

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
220～226	共同性の幻想	国語教材	友だち幻想——人と人との〈つながり〉を考える（初版第28刷）	49～50、52、54～63	菅野仁	筑摩書房	2018年	
228～237	僕らの時代のメディア・リテラシー	国語教材	世界を信じるためのメソッド——ぼくらの時代のメディア・リテラシー（初版第1刷）	122～124、131～145	森達也	理論社	2006年	
240～248	支え合うことの意味	国語教材	特別授業3.11 君たちはどう生きるか（初版）	59～79	鷲田清一他	河出書房新社	2012年	
250～259	科学技術は暴走しているのか	国語教材	世界思想（2020年春号、通巻第47号）	27～31	佐倉統	世界思想社	2020年4月	
262～267	推論とは何か	国語教材	それゆけ！ 論理さん（初版第1刷）	110～118	仲島ひとみ	筑摩書房	2018年	
268～273	帰納法のワナ——一般化に対する疑問	国語教材	データはウソをつく——科学的な社会調査の方法（初版第12刷）	16～19、25～31	谷岡一郎	筑摩書房	2018年	
286～289	課題文	国語教材	ルールはそもそもなんのためにあるのか（初版第1刷）	136～137	住吉雅美	筑摩書房	2023年	

※上記のもの以外については、編集委員による書き下ろしである。

[図・地図]

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
132	訪日外国人 聖地巡礼等の状況	図版	第26回新しい資本主義実現会議の基礎資料の改訂・再編版		内閣官房		2024年	左の出典をもとに作製
137	年齢層別交通事故死者数と割合	図版	令和6年版交通安全白書		内閣府		2024年	左の出典をもとに作製
139	大卒者の就職後3年以内離職率の推移	図版	新規学卒就職者の離職状況(令和3年3月卒業者)を公表します 別紙1		厚生労働省		2024年	左の出典をもとに作製
280	図3 2021年衆議院議員総選挙における棄権理由(複数回答・上位5つ)	図版	よくわかる投票率		総務省		2024年	左の出典をもとに作製
280	表1 2021年衆議院議員総選挙における投票参加促進広告への媒体別・年代別接触率(複数回答)	図版	よくわかる投票率		総務省		2024年	左の出典をもとに作製
281	図1 衆議院議員総選挙の投票率の推移(大選挙区・中選挙区・小選挙区)	図版	国政選挙における投票率の推移 (https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/sonota/ritu/index.html) 令和6年10月27日執行 衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 速報資料(1) 都道府県別有権者数、投票者数、投票率(小選挙区)		総務省		2023年	左2点の出典をもとに作製
281	図2 年齢別投票率の状況:衆議院議員総選挙 小選挙区	図版	よくわかる投票率		総務省		2024年	左の出典をもとに作製

※上記以外のものについては自社で作成。

出典一覧表

[写真]

ページ	申請図書		出典				備考	
	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		
見返①	ノートル・ダム大聖堂	写真						ユニフォトプレス AGE_S35-1729514
見返①	凱旋門	写真						PIXTA 5023417
見返②	カルトジオ会修道院教会	写真						アフロ 33026180
見返②	コロセウム	写真						PIXTA 69745306
15	江戸時代の寿司	写真						ユニフォトプレス 25.MN03WX
17	訪問着	写真						アフロ 108419117
19	ルース・ベネディクト	写真						アフロ 278738541
20	朴沙羅	写真						朝日新聞社 P230411000299
22	ゾウリムシ	写真						アーテファクトリー 27501317
23	大腸菌	写真						アマナイメーجز
23	酵母菌	写真						アフロ
27	キリンとシマウマ	写真						サイネットフォト
29	稲垣栄洋	写真						稲垣栄洋
33	イタリアの絵はがき	写真						アフロ 148804326
42	飯田朝子	写真						飯田朝子
50	ノートル・ダム大聖堂の怪獣の彫刻①	写真						サイネットフォト SPEF8Y28R
50	ノートル・ダム大聖堂の怪獣の彫刻②	写真						サイネットフォト SPED2CY7Y
50	ノートル・ダム大聖堂の怪獣の彫刻③	写真						ユニフォトプレス uniP_25.2BRE4GF
50	カルトジオ会修道院教会の壁面の彫刻	写真						アフロ 230634687
50	カルトジオ会修道院教会の壁面のだまし絵	写真						アフロ 33026179
53	戦勝記念塔(ドイツ・ベルリン)	写真						アフロ 1198761
55	名所江戸百景「日本橋雪晴」	写真	『名所江戸百景』				安政3年	国立国会図書館デジタル化資料
55	名所江戸百景「飛鳥山北の眺望」	写真	『名所江戸百景』				安政3年	国立国会図書館デジタル化資料
55	名所江戸百景「両国花火」	写真	『名所江戸百景』				安政3年	国立国会図書館デジタル化資料
55	名所江戸百景「する賀てふ」	写真	『名所江戸百景』				安政3年	国立国会図書館デジタル化資料
56	高階秀爾	写真						朝日新聞社 P201126000924
57	(プレゼントのイメージ)	写真						Gettyイメージズ 1210357269
65	(いろはかるたのイメージ)	写真						アフロ 115857249
74	俵万智	写真						朝日新聞社 P211217000651
82	万華鏡	写真						PIXTA 6109895
82	阿刀田高	写真						阿刀田高
85	GMの高級車のポスター(1928年イタリア)	写真						ユニフォトプレス 3.3781771
88	佐伯啓思	写真						朝日新聞社 P221115001179
89	アルフレッド・スローン	写真						アマナイメーجز GRA6062900842M
92	ハナムラチカヒロ	写真						ハナムラチカヒロ
99	シク教寺院の無料の共同食堂(ランガル)	写真						アマナイメーجز 2wh3ck0
101	藤原辰史	写真						共同通信社 2023101909470
103	「獅子の分け前」をモチーフとした風刺画	写真						ユニフォトプレス 25.2W9MW5N
106	クーリー	写真						ユニフォトプレス FAI_43924
111	榎本博明	写真						榎本博明
113	イソップ	写真						サイネットフォト SPECW4H95
118	ソクラテス	写真						ユニフォトプレス uniH_IAS015641
121	森本哲郎	写真						時事通信社 890394
123	(小論文を書く生徒のイメージ)	写真						Gettyイメージズ 1271246904
131	聖地巡礼(江ノ島電鉄鎌倉高校前の踏切)	写真						朝日新聞社 P230915000222
145	(電車のコンパートメント席のイメージ)	写真						Gettyイメージズ 1922282091
147	演劇の手法を用いたワークショップの様子(2012年)	写真						東京都美術館・東京藝術大学 とびらプロジェクト ユニフォトプレス uniP_25.D2YE2C
152	エレベーターの中	写真						ユニフォトプレス
154	平田オリザ	写真						青木司
168	菅野一徳	写真						菅野一徳

申請図書			出典				備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
169	ジェームズ・ワットの蒸気機関(復元)	写真						ユニフォトプレス 3.157749
170	ガリレオ	写真						時事通信社 47126151
170	ニュートン	写真						サイネットフォト ABM111326173
171	ガリレオ式望遠鏡	写真						アフロ 34778513
171	ヤンセン式顕微鏡	写真						ユニフォトプレス FALAP980
172	デカルト	写真						アフロ 169972709
174	松尾芭蕉(芭蕉翁画像)	写真			小川破笠			芭蕉翁顕彰会(芭蕉翁記念館)
174	与謝蕪村	写真						サイネットフォト SPEMP321M
175	小林一茶	写真						一茶記念館
176	斉藤国治	写真						朝日新聞社 P101127010425
177	すばる	写真						素材辞典 Vol.70 No.132
177	ひこぼし(アルタイル)	写真						アフロ 12999521
177	ゆふづつ(金星)	写真						アーテファクトリー 23400056
178	すばる望遠鏡	写真						国立天文台
179	池内了	写真						朝日新聞社 P170609000607
182	ホモ・エルガスターの復元	写真						ユニフォトプレス SCI_C0146241
182	ホモ・エルガスターの頭骨の化石	写真						ユニフォトプレス 5.C0110654
187	ISS国際宇宙ステーション	写真						NASA
188	長谷川真理子	写真						朝日新聞社 P231229000210
189	(河童の看板のイメージ)	写真						ユニフォトプレス 25.A9EENM
191	戦闘機から撮影されたUAP(米国防総省発表)	写真						アフロ 175187869
191	ネッシーの姿として発表された写真	写真						アフロ 227269299
199	須磨海岸	写真						アフロ 160414790
200	ニジマス	写真						PIXTA 6529896
201	熊剥ぎ	写真						アマナイメージズ 32203008097
201	熊棚	写真						アーテファクトリー
201	カワウ	写真						PIXTA 49078016
204	トリカブト	写真						PIXTA 58480769
205	ふきのとう	写真						素材辞典 6-SF087
206	箱わな	写真						自社で撮影
206	くくりわな	写真						自社で撮影
207	ニホンツキノワグマ	写真						PIXTA 38631780
208	千松信也	写真						朝日新聞社 P200825000700
211	色落ちしたノリ	写真						朝日新聞社 P220323000899
216	サヨリ	写真						Gettyイメーجز 1138824102-170667a
216	ガンゾウビラメ	写真						アフロ comp_23825912
216	ギザミ	写真						アフロ 7305087
216	デビラ	写真						アフロ 20268218
217	福永真弓	写真						福永真弓
219	第二次世界大戦開戦前の新聞記事(東京日日新聞)	写真						毎日新聞社
222	リースマン	写真						ユニフォトプレス KDO_2002051100159
226	菅野仁	写真						菅野順子
234	アフリカで生活する人々(上)	写真						アマナイメージズ AJRWP6
234	アフリカで生活する人々(下)	写真						アフロ comp_23967559
238	森達也	写真						森達也
239	映画『アイ・ロボット』	写真						ユニフォトプレス PTS_I_Robot_2004_13
248	バスカル	写真						ユニフォトプレス uniH_BAL173175
248	鷺田清一	写真						鷺田清一
250	レイ・カーツワイル	写真						ユニフォトプレス PAN_00181341
250	ユヴァル・ノア・ハラリ	写真						アフロ 88262901
255	アイザック・アシモフ	写真						アフロ 8290467
256	メアリー・シェリー	写真						アフロ 155151573

申請図書			出典					備考	
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等		
257	カレル・チャペック	写真						ユニフォトプレス	AKG1048809
258	『ターミネーター』で描かれた人造人間T-800	写真						アフロ	212261430
258	『2001年宇宙の旅』で描かれた人工知能HAL9000	写真						サイネットフォト	SPERWENKC
259	佐倉統	写真						アフロ	152496148
261	惑星軌道についての仮説を表した図	写真						ユニフォトプレス	25.A0A9TT
275	(投票のイメージ)	写真						アフロ	191914317
285	(曖昧な看板のイメージ)	写真						アフロ	157015331
口絵⑤	『ヘルシンキ 生活の練習』	写真	『ヘルシンキ 生活の練習』	表紙	朴沙羅	筑摩書房	2024年	自社で撮影	
口絵⑤	『古池に飛びこんだのはなにガエル?』	写真	『古池に飛びこんだのはなにガエル?』	表紙	稲垣栄洋	辰巳出版	2024年	自社で撮影	
口絵⑤	『ネーミングがモノを言う』	写真	『ネーミングがモノを言う』	表紙	飯田朝子	中央大学出版部	2012年	自社で撮影	
口絵⑤	『増補 日本美術を見る眼』	写真	『増補 日本美術を見る眼』	表紙	高階秀爾	岩波書店	2009年	自社で撮影	
口絵⑤	『あなたと読む恋の歌百首』	写真	『あなたと読む恋の歌百首』	表紙	俵万智	文藝春秋	2005年	自社で撮影	
口絵⑤	『短編小説を読もう』	写真	『短編小説を読もう』	表紙	阿刀田高	岩波書店	2005年	自社で撮影	
見返⑥	『まなざしのデザイン 〈世界の見方〉を変える方法』	写真	『まなざしのデザイン 〈世界の見方〉を変える方法』	表紙	ハナムラチカヒロ	NTT出版	2017年	自社で撮影	
見返⑥	『戦争と農業』	写真	『戦争と農業』	表紙	藤原辰史	インターナショナル新書	2017年	自社で撮影	
見返⑥	『「さみしさ」の力』	写真	『「さみしさ」の力』	表紙	榎本博明	筑摩書房	2020年	自社で撮影	
見返⑥	『戦争と人間』	写真	『戦争と人間』	表紙	森本哲郎	PHP研究所	2003年	自社で撮影	
見返⑥	『生き方の研究』	写真	『生き方の研究』	表紙	森本哲郎	PHP研究所	2004年	自社で撮影	
見返⑥	『下り坂をそろそろと下る』	写真	『下り坂をそろそろと下る』	表紙	平田オリザ	講談社	2016年	自社で撮影	
見返⑦	『幕が上がる』	写真	『幕が上がる』	表紙	平田オリザ	講談社	2014年	自社で撮影	
見返⑦	『愛』	写真	『愛』	表紙	苫野一徳	講談社	2019年	自社で撮影	
見返⑦	『物理学と神』	写真	『物理学と神』	表紙	池内了	講談社	2019年	自社で撮影	
見返⑦	『疑似科学入門』	写真	『疑似科学入門』	表紙	池内了	岩波書店	2008年	自社で撮影	
見返⑦	『生き物をめぐる4つの「なぜ」』	写真	『生き物をめぐる4つの「なぜ」』	表紙	長谷川眞理子	集英社	2002年	自社で撮影	
見返⑦	『ぼくは猟師になった』	写真	『僕は猟師になった』	表紙	千松信也	新潮社	2012年	自社で撮影	
見返⑧	『サケをつくる人びと 水産増殖と資源再生』	写真	『サケをつくる人びと 水産増殖と資源再生』	表紙	福永真弓	東京大学出版会	2019年	自社で撮影	
見返⑧	『教育幻想』	写真	『教育幻想』	表紙	菅野仁	筑摩書房	2010年	自社で撮影	
見返⑧	『不寛容な時代のポピュリズム』	写真	『不寛容な時代のポピュリズム』	表紙	森達也	青土社	2017年	自社で撮影	
見返⑧	『モードの迷宮』	写真	『モードの迷宮』	表紙	鷺田清一	筑摩書房	1996年	自社で撮影	
見返⑧	『哲学の使い方』	写真	『哲学の使い方』	表紙	鷺田清一	岩波書店	2014年	自社で撮影	
見返⑧	『現代思想としての環境問題』	写真	『現代思想としての環境問題』	表紙	佐倉統	中央公論新社	1992年	自社で撮影	

- 4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。
(2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。☑

単元名	ページ・行	本文	原典	訂正理由
【第I部】 1 多様性を考える	p17・2	については、	〈読点なし〉	・読みやすさに配慮して読点を追加。以後、この修正については同様。
	p17・6 p19・3	ステレオタイプのだ。 『菊と刀』で、	〈このあと原文削除〉 「菊と刀」で、	・煩雑さを避けるため。 ・書名であるため。以後、この修正については同様。
	p19・6	ものの多くは、もはや	ものの多くは、2020年代の今、もはや	・発表時と状況が異なるため。
	p22～29	〈小見出しを削除〉		・評論教材としての学習上の配慮による。
	p22～29 p22・1	〈1行アキを削除〉 鉄則である。	〈このあと原文および改行削除〉	・同上。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。
	p22・10	いるのだろうか。	いるのだろうか？	・文章の流れを中断しないため。以後、改行の削除については同様。
	p23・7 p24・9 p24・9 p24・10～12 p24・13 p25・4 p25・12 p26・4	ニッチと言う。 打撃 もう片方のチーム ～でナンバー1 ナンバー1もあるかもしれない 分け合っているのである。 人間は負けても大丈夫 どこかでナンバー1で	ニッチと言った。 打力 相手のチーム ～がナンバー1 ナンバー1もいるかもしれない 〈このあと原文削除〉 人間が負けても大丈夫 どこかで、ナンバー1で	・教科書として適切な表記に改めた。以後、この修正については同様。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・わかりやすくするため。 ・同上。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・同上。 ・煩雑さを避けるため。
	p26・15	このように	〈このあと原文削除〉	・教科書として適切な表現に改めた。以後、この修正については同様。
	p29・6	存在なのである。	存在である。	・煩雑さを避け、わかりやすくするため。 ・教科書として適切な表現に改めた。
	2 文化を比べる	p34～p42		〈大幅訂正のため略〉
p52・9		『名所江戸百景』	《名所江戸百景》	・一般的な符号に改めた。以後、この修正については同様。
p54・8		『名所江戸百景』の中の	広重の《百景》のなかの	・正確さを期すため。
3 論理を見いだす 読解のレッスン①	p58～60	〈小見出しを削除〉		・評論教材としての学習上の配慮による。
	p58・1	どうして私たちは	そもそも、どうして私たちは	・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。
	p59・15	贈与（プレゼント）とは、	贈与とは、	・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。
	p59・16	ほかならないのです。	〈このあと原文削除〉	・煩雑さを避け、わかりやすくするため。
	p59・18	述べています。（マイケル・サンデル 鬼澤忍（訳）『それをお金で買いますか』二〇一二）	述べています（『それをお金で買いますか』、146頁）。	・出典の表示のしかたを統一するため。
	p62・8 p62・15	つながるのでしょうか。 よいでしょう。〈改行〉しかし、世の中には、	〈このあと原文削除〉 よいでしょう。〈改行なし〉しかし、世の中には、	・煩雑さを避け、わかりやすくするため。 ・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。以後、原典にない改行については同様。
4 表現に出会い直す	p66・3	〈かぎ括弧一字下げ〉「おい、おまえ、	〈かぎ括弧一字下げなし〉	・教科書として適切な表記に改めた。以後、この修正については同様。
	p66・4	ことじゃないの。」	〈句点なし〉	・教科書として適切な表記に改めた。以後、この修正については同様。
	p72・4	バブルバス	バスバブル	・一般的な表現に改めた。
	p76・7	と、県庁所在地	〈会話文のあと一字下げ〉	・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため、一字下げをやめ、普通の形に改めた。以後、この修正については同様。
	p76・8	難しい	むつかしい	・教科書として適切な表現に改めた。以後、この修正については同様。
	p80・13	未知の土地	未開の地	・教育的配慮による。
5 モノの価値を問う	p86～p92	〈小見出しを削除〉		・評論教材としての学習上の配慮による。
	p86・1	見渡してみると、実にさまざまな物品が満ちあふれている。	〈原文の一部削除に伴って、文章を整えた〉	・教科書としてより適切な表現に改めた。
	p87・8 p87・11	言わんばかりの時代である。 生産力が上がると、	〈このあと原文削除〉 物をたくさん作る生産力が上がると、	・煩雑さを避けるため。 ・同上。

単元名	ページ・行	本文	原典	訂正理由
5 モノの価値を問う	p87・14 p88・16 p89・3 p89・11 p90・10 p90・16 p91・3 p91・4 p91・7 p91・8～9 p91・10 p91・13 p94～p101	製品の存在、機能や有用性を 物を購入する消費者 大成功を収めた。 高級車から大衆車まで トラッキングされている。 巨大な資本である。 最も重要になるのだ。 今の消費社会においては、 その購入や選択が たとえば、携帯電話を……狭まっている。 私たちは選挙のように社会システムや かかっている。	製品の存在や、機能や有用性を 〈傍点を削除〉 大成功を納めた。 高級車のキャデラックから大衆車の シボレーまで 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 その選択が 携帯電話を……狭まっていることを 思い出してみるといい。 私たちは社会システムや 〈このあと原文削除〉 〈大幅訂正のため略〉	・わかりやすくするため。 ・評論教材としての学習上の配慮による。以後、本教材内のこの修正については同様。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・特定商品名の掲載を避けるため。 ・煩雑さを避けるため。 ・同上。 ・採録スペースの関係による。 ・わかりやすくするため。 ・同上。 ・教科書としてより適切な表現に改めた。 ・わかりやすくするため。 ・煩雑さを避けるため。 ・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表現・表記になるように修正を加えた。
6 自己を見つめる	p104～p111 p105・8 p107・1 p113～p121	〈小見出しを削除〉 そして、自分を知るための一つのヒントを というわけだ。	そして、自分を知るヒントは、人との比較によって得られる。第1章で、そのように指摘した。自分を知るためのもうひとつのヒントを 〈このあと原文削除〉 〈大幅訂正のため略〉	・評論教材としての学習上の配慮による。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。 ・採録スペースの関係で分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表現・表記になるように修正を加えた。
8 情報を使いこなす 実用文	p134・3 p134・4 p134・5 p134・7 p134・9 p134・10 p134・15 p134・17 p134・18 p135・3 p135・7 p135・7 p135・12 p135・12 p135・17	また、ゲーム会社からも人気キャラクターが 近年では、動画ストリーミングサービスや 売り上げは二〇一二年から二〇二一年までの十年間で約十倍にまで拡大し、日本のファンにとってはもちろん、「聖地巡礼」と呼ばれる。映画・アニメ・漫画などの 訪れる旅をさす。 苦慮している。 なるわけではない。 場合もあるだろう。また、 なるのではないだろうか。 地域も多く見られる。〈図と原文中の図番号を削除〉 地域も多く見られる。 旅の目的地になる場合もあり、つながるだろう。 ステークホルダー（利害関係者）	また、任天堂に代表されるゲーム会社からもスーパーマリオブラザーズ等の人気キャラクターが 近年では、Netflix等の動画ストリーミングサービスや 売り上げは十年間で約十倍にまで拡大し ^{*1} 、 〈このあと原文削除〉 「聖地巡礼」と呼ばれ、また、映画・アニメ・漫画などの 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 地域も多く見られる（図表4）。 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 ステークホルダー	・特定企業名・特定商品名の掲載を避けるため。 ・特定企業名の掲載を避けるため。 ・注から情報を補った。 ・発表時と状況が異なるため。 ・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。 ・特定商品名の掲載を避けるため。 ・採録スペースの関係による。 ・特定商品名の掲載を避けるため。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。 ・採録スペースの関係による。 ・図の削除に伴い、図を受ける表現を削除。 ・採録スペースの関係による。 ・特に必要とは思われないため。 ・採録スペースの関係による。 ・わかりやすくするため。
【第Ⅱ部】 1 思いを伝え合う	p146～p154 p146・4 p146・5 p148・14 p149・3 p152・10 p153・1 p153・14 p154・2 p154・2 p156～p167	〈小見出しを削除〉 教えるようになった。 多くの授業は、 わかってきた。 「よりますか？」 では、 一方、私たち 必要がある。 国際化の問題も、 考えたほうがいい。	〈このあと原文削除〉 他の多くの授業は、 〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 さて、では、 一方、本書でも繰り返し書いてきたように、私たち 必要がある。〈このあと原文削除〉 たとえば、国際化の問題も、 〈このあと原文削除〉 〈大幅訂正のため略〉	・評論教材としての学習上の配慮による。 ・採録スペースの関係による。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。 ・採録スペースの関係による。 ・同上。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。 ・煩雑さを避けるため。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・前項の削除に合わせて削除。 ・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表現・表記になるように修正を加えた。

単元名	ページ・行	本文	原典	訂正理由		
2 世界を捉え直す	p175・4	紹介してみたい。	〈このあと原文削除〉	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすさに配慮して参考文献を削除。 ・学習上の配慮として、人物を時代順に並べ替えた。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・同上。 ・読みやすさに配慮して出典を削除。以後、この修正については同様。 ・教科書として適切な表記に改めた。 ・一般的な表現に改めた。 ・評論教材としての学習上の配慮による。 ・煩雑さを避けるため。 ・教科書として適切な表記に改めた。以後、この修正については同様。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・教科書として読みやすく、また、わかりやすくするため。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・読みやすさに配慮して読点の位置を改めた。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・文章の流れを中断しないため。 		
	p175・14	芭蕉・蕪村・一茶	芭蕉・一茶・蕪村			
	p175・15 p176・7 p176・8	理由がどのような成分にあるのかを をかし 連ねているが、	理由をどのような成分にあるか をおかし 連ねているが（『枕草子』第二五四段）、			
	p177・2 p178・5	関係と、 一顧だにしなかった	関係、と 一瞥だにしなかった			
	p180～p187	〈小見出しを削除〉				
	p181・5	チンパンジーと分かれて	君たちが使っている教科書にはまだ 記述はないのだが、チンパンジーと 分かれて			
	p182・4	ホモ・エルガスター	ホモ・エルガスタ			
	p182・10 p183・4～8	平原やサバンナに ヒトの特徴の一つとして、……ヒトの進 化である。	平原・サバンナに 〈原文の一部削除・入れ換えに伴っ て、文章を整えた〉			
	p184・1 p186・3	地中に埋もれたりしている 目標を達成するために次に何をしなけ ればいけないかといった、	地中に埋もれている 目標を達成するために、次に何をし なければいけないかといった			
	p186・8 p186・8	わかなくなったりしてしまう。 しまう。〈改行なし〉前頭前野の	わかなくなってしまう。 しまう。〈改行〉前頭前野の			
3 文章を読み比べ る 読解のレッスン②	p190～193	〈小見出しを削除〉		<ul style="list-style-type: none"> ・評論教材としての学習上の配慮による。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。 ・煩雑さを避けるため。 ・同上。 ・筆者の意向による。 ・同上。 ・部分採録のため、前項を受けた表現を削除。 ・煩雑さを避けるため。 ・わかりやすくするため。以後、本教材内の名前の表記のしかたについては同様。 ・部分採録であるため、採録箇所以前の内容を補った。 ・前項の修正に合わせて修正。 ・筆者の意向による。 ・部分採録であるため、採録箇所以前の内容を補った。 ・筆者の意向による。 ・採録スペースの関係による。 ・筆者の意向による。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・筆者の意向による。 ・教科書として適切な表現に改めた。 		
	p190・1	公開した	公開したのである			
	p190・5 p190・9 p191・1 p192・18	と言ってよい。 認めたということである。 こういった 埋め込まれていようが、ある日突然、「滅 菌」されることになるうが、普通に、	〈このあと原文削除〉 〈このあと原文削除〉 しかし、こういった 埋め込まれていようが、普通に、			
	p192・18	淡々と生きていくしかない。	〈このあと原文削除〉			
	p193・3	現実は何も変わらない。	〈このあと原文削除〉			
	p194・1	内山節によれば、	内山によれば			
	p194・6	（内山節『日本人はなぜキツネにだまされ なくなったのか』二〇〇七）	（内山 二〇〇七）			
	p194・10 p194・11 p195・3	（同書） 井上円了は （小松和彦『妖怪学新考 妖怪から見る 日本人の心』二〇〇七）	（内山 二〇〇七） 井上円了が （小松 二〇〇七）			
	p195・4 p195・6 p195・9	大切なのではなく、私たちは ほかならない。 「精神世界（ストレスの発生とその解 消）」	大切なのではなく、私たちが 〈このあと原文削除〉 精神世界（ストレスの発生とその解 消）			
	p195・13 p195・15 p196・6	納得したり、諦めたりすることによって 現実世界における 分析したり理解したりしようとはせず、	納得したり、諦めることによって 現実世界において 分析したり理解しようとはせず、			
	4 自然のなかで 生きる	p200～p207	〈小見出しを削除〉			<ul style="list-style-type: none"> ・評論教材としての学習上の配慮による。 ・部分採録のため。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・同上。 ・評論教材としての学習上の配慮による。 ・筆者の意向による。 ・教科書採録箇所以外の部分をさした表現であるため。 ・部分採録であるため、採録箇所以前の内容を補った。 ・筆者の意向による。 ・部分採録であるため、採録箇所以前の内容を補った。 ・筆者の意向による。 ・わかりやすくするため。 ・筆者の意向による。 ・同上。
		p201・7	カワウの集団営巣地でも		カワウの集団営巣地（P187参照） でも	
		p203・6 p205・2	角出さんから、 降りてきたりして、		角出さんでも、 降りてきて	
		p209～p216	〈小見出しを削除〉			
p211・2		二項対立的思考にはあてはまらない、	二項対立的思考のもとでは一方的に 汚いとみなされてしまう、			
p211・3		生み出すことだ。	〈このあと原文削除〉			
p211・4～7		一九七〇年の……そこで近年では、				
p211・9 p211・9		行うことが目ざされてきた。 二〇一五年に瀬戸内海について示され た「豊かな海」を	行う。 「豊かな海」を			
p212・6 p212・6 p212・7 p213・7		人口の変動、 生物相の変化、 護岸工事など、環境変化の きれい／汚いの二分法を	人間の流入の変動、 低次から高次の生物相の変化、 護岸工事などの環境変化などの きれい／汚いを			

単元名	ページ・行	本文	原典	訂正理由
4 自然のなかで生きる	p214・5 p214・9 p214・13 p216・1	かつて瀬戸内海が「瀕死の海」とその青さは、魚も貝も 生き物の生命を奪う類を見ないと言われる	かつて「瀕死の海」とその青さは、貧酸素状態を繰り返し、魚も貝も移動しながら生きものの生命を奪う類を見ないと呼ばれる	・わかりやすくするため。 ・同上。 ・同上。 ・教科書として適切な表現に改めた。
5 あたりまえを疑う	p220～p226 p228～p237		〈大幅訂正のため略〉 〈大幅訂正のため略〉	・採録スペースの関係で分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表現・表記になるように修正を加えた。 ・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表現・表記になるように修正を加えた。
6 現代社会と向き合う	p240～p248 p250・7 p251・1 p251・3 p251・3 p251・11 p251・11 p251・12 p252・8 p253・1 p253・8 p256・5 p256・5 p256・9 p257・10 p257・12 p257・14	 A I が全人類を上回る知能を獲得する、技術的特異点がもうすぐ到来と言った、アメリカの歴史学者 A I やロボット ブレイン・マシン・インターフェイス 我々 ずっと ないだろうか。 移動中に怪我や死亡事故が生じる 貧しくなる人々 第一に、 のではないか。 技術に対するイメージ プルートウ 道具であったりする それに対して 『ロボット』	〈大幅訂正のため略〉 A I が全人類を合わせた知能を上回る技術的特異点までもうすぐだと言った、アメリカの歴史家 A I /ロボット ブレイン・マシン・インタフェイス：BMI ぼくたち ずーっと なかろうか。 移動中の事故で怪我や死亡が生じる 貧しくなる人 まず第一に、 のではないか—— 技術イメージ プルートウ 道具である それに対し 『ロボット (R・U・R)』	・筆者の監修のもと、分量の調整をするとともに、全般にわたって、教科書として適切な表現・表記になるように修正を加えた。 ・読みやすくわかりやすくするため。 ・他の人物の紹介のしかたに合わせて修正。 ・教科書として適切な表記に改めた。 ・一般的な表現に改めると同時に、煩雑さを避けるため略記を削除。 ・教科書として適切な表現に改めた。以後、この修正については同様。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・同上。 ・わかりやすくするため。 ・並列関係をわかりやすくするため。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・同上。 ・わかりやすくするため。 ・正確な表現に改めた。 ・教科書として適切な表現に改めた。 ・同上。 ・煩雑さを避けるため。
7 推論を習得する読解のレッスン③	p266～267 p266・3 p266・4～6 p266・13 p267・9～13 p267・17 p268～273 p268・1 p268・4 p268・7 p268・8 p269・2 p269・4 p269・8 p269・14 p269・15 p269・16 p269・18 p270・7 p271・2	〈小見出しを削除〉 導くわけです。 個別ケースを……思います。 たどり着くこともあります。 私は今まで……算段です。 「外は雨が降っているにちがいない」 〈小見出しを削除〉 〈改行〉定義しようとすると、ひとつ皆さんに トートロジーと呼ばれる、 ことになります。 パーシヴァル・ローウェル あのローウェル先生が 発見して「N線」と命名した ないのです。 このN線事件を紹介した あると言います。 二つです。〈図と原文中の図番号を削除〉 ただ、ポストホックな理由付けは、 トマス・クーンによって	〈このあと原文削除〉 〈原文の一部削除に伴って、文章を整えた〉 〈このあと原文削除〉 〈原文の一部削除に伴って、文章を整えた〉 「外で雨が降っているに違いない」 〈改行なし〉定義しようとすると、ひとつ読者の皆さんに 先ほどのトートロジーと呼ばれる、 ことに気がつくはずです。 ローウェル あのローウェル教授が 発見、「N線」と命名した 〈このあと原文削除〉 このN線事件を一九九九年の著作で紹介した 〈このあと原文削除〉 二つです (図1-1)。 ただ前にも述べたように、ポストホックな理由付けは、 トマス・クーン (一九六二) によって	・評論教材としての学習上の配慮による。 ・採録スペースの関係による。 ・教科書としてより適切な表現に改めた。 ・採録スペースの関係による。 ・同上。 ・教科書としてより適切な表現に改めた。 ・評論教材としての学習上の配慮による。 ・部分採録のため。 ・教科書としてより適切な表現に改めた。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。 ・前項の削除に合わせて修正。 ・他の人物の名前の表記のしかたに合わせて修正。 ・教科書としてより適切な表現に改めた。 ・同上。 ・教育的配慮による。 ・煩雑さを避けるため。 ・部分採録のため、次項を受ける表現を削除。 ・採録スペースの関係による。 ・部分採録のため、前項を受ける表現を削除。 ・煩雑さを避けるため。

単元名	ページ・行	本文	原典	訂正理由
7 推論を習得する 読解のレッスン③	p271・11	登場するのです。	〈このあと原文削除〉	<ul style="list-style-type: none"> ・図の削除に伴い、図を受ける表現を削除。以下、本教材内のこの修正については同様。 ・教科書としてより適切な表現に改めた。 ・読みやすさに配慮して出典情報を削除。以下、本教材内のこの修正については同様。 ・教科書としてより適切な表現に改めた。 ・部分採録のため、後項を受ける表現を削除。 ・煩雑さを避けるため。 ・同上。
	p271・12	それでは説明できない	それで説明できない	
	p271・13	彼の有名な万有引力を含む力学理論は、	彼の有名な万有引力を含む力学理論（『プリンキピア』）は、	
	p272・4	プロセスを、	プロセスは、	
	p272・6	必要があります。	〈このあと原文削除〉	
	p272・7 p273・7	実はそうではなかったのです。 カール・ポパーは、	〈このあと原文削除〉 カール・ポパー（一九〇二～一九九四）は、	
9 小論文を書く 実践	p287・11	示すべきであろう。	示すべきだと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習上の配慮による。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	5	二次元コード		自社ページURL	コンテンツリスト	別紙1添付
	5	URL		自社ページURL	コンテンツリスト	別紙1添付
2	表4	二次元コード		自社ページURL	コンテンツリスト	別紙1添付
	16	二次元コード		自社ページURL	『「日本文化」とは?という問い』語句の言い換え	別紙2添付
3				自社ページURL	『「日本文化」とは?という問い』語句の意味	別紙3添付
				自社ページURL	『進化が導き出した答え』語句の言い換え	別紙4添付
4	34	二次元コード		自社ページURL	『進化が導き出した答え』語句の意味	別紙5添付
				自社ページURL	『数え方で磨く日本語』語句の言い換え	別紙6添付
5	44	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180393_00000	参考動画：情報の集め方	
				自社ページURL	『名所絵はがきの東西』語句の言い換え	別紙8添付
6	48	二次元コード		自社ページURL	『名所絵はがきの東西』語句の意味	別紙9添付
				自社ページURL	『プレゼントの謎』語句の言い換え	別紙10添付
7	58	二次元コード		自社ページURL	『プレゼントの謎』語句の意味	別紙11添付
				自社ページURL	『「みんな違ってみんないい」のか』語句の言い換え	別紙12添付
8	62	二次元コード		自社ページURL	『「みんな違ってみんないい」のか』語句の意味	別紙13添付
				自社ページURL	『情けは人の……』語句の言い換え	別紙14添付
9	66	二次元コード		自社ページURL	『情けは人の……』語句の意味	別紙15添付
				自社ページURL	『犬も歩けば棒に当たる』語句の言い換え	別紙16添付
10	76	二次元コード		自社ページURL	『犬も歩けば棒に当たる』語句の意味	別紙17添付
				自社ページURL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kotoba_shokudo/index.html	参考リンク：「国語に関する世論調査」に基づく動画集
11	84	二次元コード	文化庁	自社ページURL	『欲望を創造する技術』語句の言い換え	別紙18添付
				自社ページURL	『欲望を創造する技術』語句の意味	別紙19添付
13	94	二次元コード		自社ページURL	『食べ物に値段がなかったら』語句の言い換え	別紙20添付
				自社ページURL	『食べ物に値段がなかったら』語句の意味	別紙21添付
14	104	二次元コード		自社ページURL	『鏡としての他者』語句の言い換え	別紙22添付

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
				自社ページURL	『鏡としての他者』 語句の意味	別紙23添付
15	113	二次元コード		自社ページURL	『経験の教えについて』 語句の言い換え	別紙24添付
				自社ページURL	『経験の教えについて』 語句の意味	別紙25添付
16	122	二次元コード		自社ページURL	参考資料：イソップ寓話集	別紙26添付
17	137	二次元コード	総務省統計局	https://www.stat.go.jp/naruhodo/index.html	参考リンク：なるほど 統計学園	
18	146	二次元コード		自社ページURL	『コミュニケーションの文化』 語句の言い換え	別紙27添付
				自社ページURL	『コミュニケーションの文化』 語句の意味	別紙28添付
19	156	二次元コード		自社ページURL	『哲学的思考とは何か』 語句の言い換え	別紙29添付
				自社ページURL	『哲学的思考とは何か』 語句の意味	別紙30添付
20	170	二次元コード		自社ページURL	『新しい博物学を』 語句の言い換え	別紙31添付
				自社ページURL	『新しい博物学を』 語句の意味	別紙32添付
21	180	二次元コード		自社ページURL	『ヒトはなぜヒトになったか』 語句の言い換え	別紙33添付
				自社ページURL	『ヒトはなぜヒトになったか』 語句の意味	別紙34添付
22	190	二次元コード		自社ページURL	『「わからない世界」の中の科学』 語句の言い換え	別紙35添付
				自社ページURL	『「わからない世界」の中の科学』 語句の意味	別紙36添付
23	194	二次元コード		自社ページURL	『「妖怪は存在する」という知』 語句の言い換え	別紙37添付
				自社ページURL	『「妖怪は存在する」という知』 語句の意味	別紙38添付
24	198	二次元コード		自社ページURL	参考資料：不知火現象 解明挑む高校生	別紙39添付
25	200	二次元コード		自社ページURL	『クマを変えてしまう人間』 語句の言い換え	別紙40添付
				自社ページURL	『クマを変えてしまう人間』 語句の意味	別紙41添付
26	209	二次元コード		自社ページURL	『にごりの海の透明度』 語句の言い換え	別紙42添付
				自社ページURL	『にごりの海の透明度』 語句の意味	別紙43添付
			NHK	https://www2.nhk.or.jp/archives/movies/?id=D0009030560_00000	参考動画：ニュース 「公害国会」で公害関係法案が成立	
			環境省	https://www.env.go.jp/water/heisa/law.html	参考リンク：環境省 瀬戸内海環境保全基本計画	
			兵庫県	https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/mizu_dojo/leg_249/22996	参考リンク：兵庫県栄養塩類管理計画～豊かで美しい里海を目指して～	
27	220	二次元コード		自社ページURL	『共同性の幻想』 語句の言い換え	別紙44添付
				自社ページURL	『共同性の幻想』 語句の意味	別紙45添付
28	228	二次元コード		自社ページURL	『僕らの時代のメディア・リテラシー』 語句の言い換え	別紙46添付

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
				自社ページURL	『僕らの時代のメディア・リテラシー』 語句の意味	別紙47添付
			NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005320759_00000	参考動画：ステレオタイプ	
29	240	二次元コード		自社ページURL	『支え合うことの意味』 語句の言い換え	別紙48添付
				自社ページURL	『支え合うことの意味』 語句の意味	別紙49添付
30	250	二次元コード		自社ページURL	『科学技術は暴走しているのか』 語句の言い換え	別紙50添付
				自社ページURL	『科学技術は暴走しているのか』 語句の意味	別紙51添付
31	276	二次元コード	NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180391_00000	参考動画1：課題の見つけ方	
			NHK	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005180396_00000	参考動画2：分析のしかた	
32	281	二次元コード	総務省	https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/data/index.html	参考リンク：総務省 選挙関連資料	

107-196 (書名入る)

著作権について

1 多様性を考える

2 文化を比べる

3 論理を見いだす 読解のレッスン①

4 表現に出会い直す

5 モノの価値を問う

6 自己を見つめる

8 情報を使いこなす 実用文

別紙 2

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選択し、電子申請はめまや珍しくな。

解答

容易だ

時代遅れだ

ありふれている

別紙 3

1問 / 7問

次の表現の意味を答えよう。
堪能

〈例文〉 先生は、英語と等しくスペイン語も堪能である。

解答を見る

別紙 4

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選択し、自然界の厳しい掟。

解答

言葉

きまり

流行

別紙 5

1問 / 7問

次の表現の意味を答えよう。
ニッチ

〈例文〉 キリンは首を長くすることでニッチを確保した。

解答を見る

1問 / 6問

次の表現の意味を答えよう。
奥が深い
〈例文〉 文学研究は奥が深い。

解答を見る

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
ほんやり算えてみる。

解答

漠然と
 歴然と
 悄然と

1問 / 5問

次の表現の意味を答えよう。
威力
〈例文〉 新型のコンピュータの威力を披露する。

解答を見る

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
愛嬌のある顔。

解答

悲惨さ
 親しみやすさ
 緊張感

1問 / 2問

解答

象徴的な

衝撃的な

衝動的な

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選択しよう。
 ショッキングな出来事が起きた。

1問 / 3問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
 そしらぬ
 〈例文〉 犯人捜しの話にはいっせいに加わらず、さしらぬかりきり。

1問 / 3問

解答

近頃

昨日の今頃

昨日と今日

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選択しよう。
 昨今の政治情勢。

1問 / 3問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
 流布
 〈例文〉 眞知事に関する悪い噂が流布している。

別紙 14

1問 / 4問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
古風な表現を使う。

解答

古めかしい

ずっと昔の

技巧を凝らした

別紙 15

1問 / 6問

次の表現の意味を答えよう。
こらえる

〈例文〉 客の滑稽な話に必死で笑いをこらえた。

解答を見る

別紙 16

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
涼しい顔で答える。

解答

冷徹な

すました

しゃがんでしゃがんで

別紙 17

1問 / 5問

次の表現の意味を答えよう。
なじみ

〈例文〉 日本人にはなじみが薄い料理。

解答を見る

1問 / 5問

解答

平時

非常時

混沌 こんとん

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選択ほう。
有事に備える。

1問 / 7問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
培う
〈例文〉 仕事を通じて英語コミュニケーション能力を培った。

1問 / 6問

解答

従順になる

批判的になる

新風を吹かせる

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選択ほう。
組織に風入を開ける。

1問 / 7問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
人道的
〈例文〉 法的であったとしても、人道的な立場からも判断すべきだ。

1問 / 5問

解答

一斉に

四六時中

時として

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぼう。
始終人の目を気にする。

1問 / 5問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
気にする
〈例文〉 友人から言われたことを気にする。

1問 / 3問

解答

本心

戒めの言葉

ほのめかした気持ち

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぼう。
寓話に諷意をこめ。

1問 / 5問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
肝要
〈例文〉 何事にも慎重さが肝要だ。

イソップ寓話〈教科書に引用されている話〉

中務哲郎訳

・ライオンと野生の驢馬

野生の驢馬とライオンが催合で狩りをするようになった。ライオンは強さで、驢馬は足の速さで、勝っていた。おびただしい獲物があつたので、ライオンが分配することになり、三つの部分に分けて言うには、

「一つ目は、百獣の王たるわしがもらおう。二つ目は、平等のパートナーとしてわしがいただく。さてこの三つ目だが、おまえに逃げて行く気がないととなると、ひどいことになるぞ。」

身のほどをわきまえよ。自分より強い者と組んだり共同で事を行ったりしてはならないのだ。

・ライオンと驢馬と狐

ライオンと驢馬と狐が仲間になることにして、狩りに出かけた。獲物がどっさりあつたので、ライオンは驢馬に命じて分けさせた。驢馬が三等分を作り、好きなのを選ぶよう促したところ、ライオンは激怒して、驢馬に跳びかかるや食ってしまった。次に狐に分配を命じると、狐は全部を一つに集め、自分のためには少しだけ取りのけて、ライオンに取るよう勧めた。誰がこの分け方を教えた、とライオンがきくのには、狐は答えて、

「驢馬の災難です。」

隣人の不幸が人を賢くすることを、この話は説き明かしている。

・蚊とライオン

蚊がライオンのところへ出向いて、

「おまえなんか怖くない。おまえのほうが弱いのだ。嘘だというなら、おまえの強さはどこにある。爪でひっかき、歯でかむことかね。それくらい、女でも男とけんかするときにするぞ。俺のほうはずっと強いのだ。やる気なら、戦ってみようか。」

と言った。そしてらっぱを合図に攻めかかり、ライオンの顔の、鼻面のまわりの毛のなるところをかきまくった。ライオンは爪で我が身をかきむしり、ついに降参した。蚊はライオンを打ち負かすと、らっぱを鳴らし凱歌をあげて飛んでいこうとしたが、蜘蛛の網にかかり、食われながら、百獣の王と戦う身が、蜘蛛ごときけちな生き物のために殺されることを嘆いた。



・驢馬と蟬せみ（驢馬とキリギリスと同じ話型）

驢馬が蟬の鳴くのを聞いて、その響きに酔い、その声が羨ましくなって、何を食べてそんな声を出すのかと尋ねた。

「露や。」

との答えに、驢馬は露ばかりを食べ続け、飢えて死んでしまった。

このように、柄にもないことを望む者は、得られぬばかりか、とんでもない不幸に陥るのだ。

・樫かしと葦あし（葦とオリーブの木と同じ話型）

樫と葦が頑丈さを競い合った。大風が吹いたとき、葦は体を曲げ突風に身を任せて、根こそぎにされるのを免かれたが、樫は、抵抗して根っこから覆されてしまった。

強い者には争ったり抵抗したりすべきでない、ということはこの話は説き明かしている。

・鷺わしと黒丸こくまる鳥からすと羊飼やまどり

鷺が高い岩場から舞い降りて、子羊をひっさらった。これを見ていた黒丸鳥君、なにくそ自分もまねをしてやれ、とばかり、羽根音高く急降下して、襲いかかったのは一人前の雄羊。

ところが、ふさふさとした毛に爪が食い込み、引き抜くこともできぬまま羽根をばたつかせているうち、とうとう羊飼いが気づいて、走り寄るなりつかまえてしまった。

羊飼いは鳥の風切り羽根を切っておき、夕方になると、子供への土産に持ち帰った。そして、これは一体何の鳥、ときかれて、羊飼いの答えるには、

「わしの見るところ、間違はなく黒丸鳥、しかしこいつは、鷺のつもりだ。」

このように、抜きん出たものと張り合うと、何の得るところもないばかりか、ひどい目に遭ったうえ、笑い者になるのが落ちだ。

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選び、世間話をよめる。

解答

内々の話

恋愛の話

とりとめもない話

1問 / 5問

次の表現の意味を答えよう。

変哲

〈例文〉 なんの変哲もない話が一時間も続いた。

解答を見る

1問 / 7問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選び、過度に一般化する。

解答

よく考えて

ちょうどよく

必要以上に

1問 / 6問

次の表現の意味を答えよう。

相對

〈例文〉 ほかの生徒も含めて相對的に評価する。

解答を見る

1問 / 5問

解答

- 古知らず
 言ひ過ぎ
 お世辞

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
 日本一と言っても過言ではない。

1問 / 7問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
 集大成
 〈例文〉 高校三年生の文化祭は高校生活の集大成だ。

1問 / 5問

解答

- 何らかの言及
 想定しやすい筋道
 無理のある展開

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
 二足歩行になったというシナリオ。

1問 / 7問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
 ひと昔
 〈例文〉 ひと昔前は駅の伝言板を待ち合わせに使っていた。

1問 / 3問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
あまたあるうちの1つ。

解答を見る

1問 / 5問

次の表現の意味を答えよう。
拭う
〈例文〉 裏切者という汚名を拭い取ることができないままだった。

解答を見る

1問 / 2問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
リアリティとして捉えられないほどの惨事。

解答

1問 / 2問

次の表現の意味を答えよう。
撲滅
〈例文〉 米国の公民権運動は、黒人に対する差別の撲滅をめざしたものだ。

解答を見る

不知火現象 側方蟹気楼か 八代海の怪火 解明挑む高校生

熊本県宇城市うぎに面する八代海は、広大な干潟を抱く穏やかな内海だ。この地域には旧暦八月一日、「八朔はっさくの日」にまつわる伝承がある。

日本書紀によると、ヤマトタケルの父・景行天皇けいこうが九州を巡幸した際、船で航行中に夜になり、方角がわからなくなった。そこで、遠くに見えた火を目ざすと無事に岸にたどり着いた。誰が火をともしたのかと尋ねると、誰もその火を知らなかった――。

八代海で夏ごろに出現する夜の怪火は、誰も知らぬ火Ⅱ不知火と名付けられた。

海面に広がる光

不知火の正体は何か。科学的な検証は約百年前に遡る。昭和初期、熊本高等工業学校（現熊本大）の宮西通可教授みやにしとしか（故人）が唱えたのが、漁り火いさなどの光が、空気の層の温度差から屈折して見えるという説だ。

一九七二年に「不知火の研究」を発表した熊本大の山下太利名誉教授やましたたれし（同）は、海面近くの気温差による異常な屈折が原因で、富山湾などで有名な蟹気楼の一種とも説明している。

だが不知火は蟹気楼と異なり、夜の海上に数個の火が現れ、やがて無数の火が連なったり、明滅したりして見える。その理由は判然とせず、九〇年代以降、本格的な研究は行われていなかった。

その解明に挑んでいるのが、熊本県立宇土高校うど（宇土市）科学部地学班の生徒たちだ。宇城市不知火町には、古くから不知火の観望地として知られる「永尾劔神社えいのおつるま」がある。約六年前、同町出身の生徒が提案して、研究が始まった。生徒たちは、先行研究を基に不知火が発生するとされる八朔の日を中心に、同神社で海水温や気温などの観測を続けた。夜通し観測は六年間で二十三回行ったが、一度も不知火は現れなかった。

だが分析の結果、発生条件に迫りつつある。生徒たちは現在、八代海ならではの環境が作った「側方蟹気楼」の一種と考えている。

八朔に発生の謎

富山湾や北海道の石狩湾が名所として名高い蟹気楼は、海の上に島や建物が浮かんだり、伸びたりして見える。「蟹」とは海中にすむ想像上の妖怪で、紀元前の中国では蟹が「気」を吐き出して高い「楼」を作る、と考えられていた。



現代では、蜃気楼は上空の気温差による光の屈折と説明されている。湾の向こうで地形や街に反射し、上空に向かったはずの光が、海上の冷氣と上空の暖気が重なり合った部分で気温が低い方に曲がり、地上に届く。それを見た人が、光が飛んできた空の方向に島や建物があるかのように錯覚する。

一方、八代海で八朔の日になる九月前後は海水温がまだ高く、海面の空気は暖かい。だが夜は秋の寒気も入って気温差が生まれ、蜃気楼が起きる条件が整う。八代海には、干潟が広く分布する。旧暦の一日は新月（朔）で、海は大潮となる。不知火が発生する午前一〜三時ごろ、潮が引いて大きな干潟ができると、温かい海と冷たい干潟の上空で横方向の気温差が生じる。蜃気楼が上下の気温差で縦方向の錯覚を見せるのに対し、側方蜃気楼は左右の気温差が横方向の錯覚をもたらす。

さらに同校の研究で、沿岸では夏から八朔の日にかけて、弱い陸風が吹くことが判明した。八朔の日、陸風の動きで気温差の境界付近に不規則なムラができる。海に漁り火などの光源があると、海面の光が横に伸びたり、分かれたり、くっついたりする不知火が、説明できるというわけだ。

未明に船で再現

側方蜃気楼で、本当に不知火は起きるのか。生徒たちはまず、室内実験での再現を試みた。カメラと光源の間にヒーターを置き、片側だけ熱して空気を暖めた。干潟に流れ込む冷たい川はヒーターの隙間、弱い陸風は扇風機で再現した。その結果、風のない状態で左右に光が分かれ、像が反転する側方蜃気楼と、風のある状態で光が流れて伸び縮みする不知火と思われる現象の撮影に、成功した。

今年の八朔の日にあたる九月三日。生徒たちは初めて、八代海の船で不知火の再現に挑戦した。地元の八代漁業協同組合にお願いし、漁船三隻にLED光源を一つずつ載せ、夜の八代海で発光してもらった。生徒たちは二日夜に永尾劔神社に集まり、気象観測をしながら撮影に挑んだ。三日未明、神社から約八・五キロ離れた河口付近の一隻に変化があった。望遠レンズで撮影した画像には、船体に反射したと思われる細く伸びた光の右側に、明るくぼんやりとした二つの光が横に並んで写っていた。後日、実際に船体を確認し、「漁火」として搭載した光源は一つと検証した。

同校の本多栄喜教諭は「過去に街の光などで光源の数が変わる現象は見たが、横に変化する光は初めてだ。不知火と言える現象だ」と話す。今後は海水温や干潟近くの温度などの記録を解析し、さらに詳しく発生条件を明らかにするつもりだ。

記録は二〇一二年まで

「祭幡はためく磯に潮満ち来 よべ不知火の燃えし沖より」。永尾劔神社の境内には、一九七五（昭和五〇）年の宮中歌会始で詠みあげられた歌の碑が建立されている。この神社で、かつては観望会が開かれるほど親しまれていた不知火。ところが近年では二〇一二年に出現したのが最後の記録になった。

生徒たちは、不知火が消えた原因の考察も進めている。江戸時代から進んだ干潟の干拓、漁り火を使った夜間の漁の減少、海水温や気温、潮位の変化などが考えられるという。こうした条件を調べることも、不知火の解明につながる。地学班長の同校二年、米田直人さんは「次は肉眼でも見られる不知火を再現したい」と意気込む。

不知火は、伝承だけの存在になるのか。八代海の神秘に再び火をともしるのは、高校生かもしれない。

1問 / 5問

解答

- 全部
 遠からず
 どこからか

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選びなさい。
その木はいずれ枯れる。

1問 / 7問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
しばしば

〈例文〉 このあたりでは、クマがしばしば目撃されている。

1問 / 7問

解答

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選びなさい。

1問 / 7問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
素人目

〈例文〉 日本チームが優勢なのは、素人目にも明らかだ。

1問 / 7問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選択しよう。
両者の関係を密にしてください。

解答

深める

終わらせる

隠す

1問 / 4問

次の表現の意味を答えよう。
同調圧力
〈例文〉 同調圧力に負けずに自分の考えを主張する。

解答を見る

1問 / 5問

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選択しよう。
視聴者がその涙を向へ。

解答

合間に見る

半信半疑になる

無視する

1問 / 8問

次の表現の意味を答えよう。
宿命
〈例文〉 忙しいのは医師の宿命だ。

解答を見る

1問 / 3問

解答

○ いたいた
○ ちかちか
● びんびん

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
採め事が起る。

1問 / 6問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
看取る
〈例文〉 長年闘病していた祖父を看取った。

1問 / 5問

解答

○ おおまかだ
○ すばやく
● 結論から

傍線部の語句の言い換えとして最適なものを選ぶ。
大雑把に言うところなる。

1問 / 5問

解答を見る

次の表現の意味を答えよう。
技術的特異点
〈例文〉 技術的特異点を描いた映画を見た。